

保護者の皆様

令和8年9月25日

川崎市立稲田小学校
校長 青木 あゆ子

令和8年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

仲秋の候、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

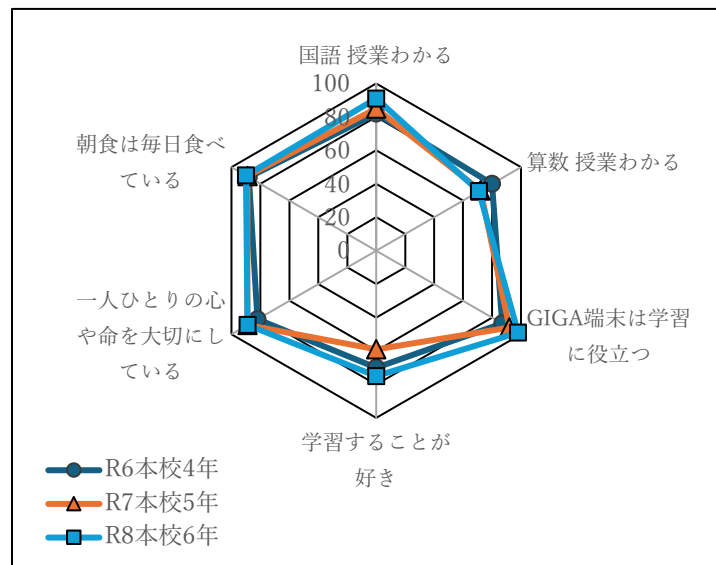
さて、4月に行いました4・5・6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。

本校では、学校教育目標の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでいます。今後は本調査の結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面です。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校ウェブサイト等でご確認ください。

学校教育目標

- 『い』 いろいろな考えを認めてともに学び、進んで自ら追究する子
- 『な』 なかまを大切にし、自分を守り、明るい未来を描く元気な子
- 『だ』 大好きなふるさとを守り、愛する心やさしい子

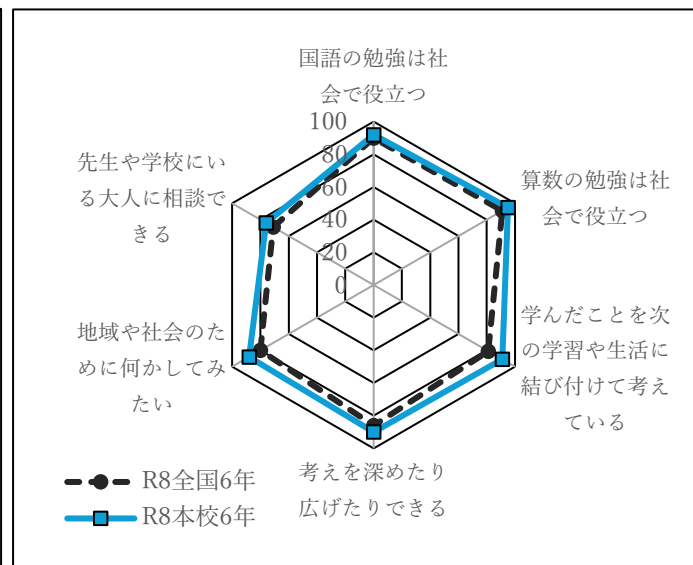
【6年生】 川崎市学習状況調査



6年生は、「学校が楽しい」「自分にはよいところがある」と回答する児童の割合が高く、友達を思いやる心が年々育っています。一方で、「1か月に本を1冊も読んでいない」「平日に3時間以上ゲームや動画視聴をする」児童の割合が高く、語彙力や思考力の伸びに影響を与えている可能性がうかがえます。

学力調査では、全国調査において全体平均を上回る結果となりました（川崎市調査ではわずかに下回っています）。国語の「話すこと・聞くこと」や「漢字の読み」、算数の「速さ」「単位量あたりの大きさ」などは良好な結果でした。

全国学力・学習状況調査

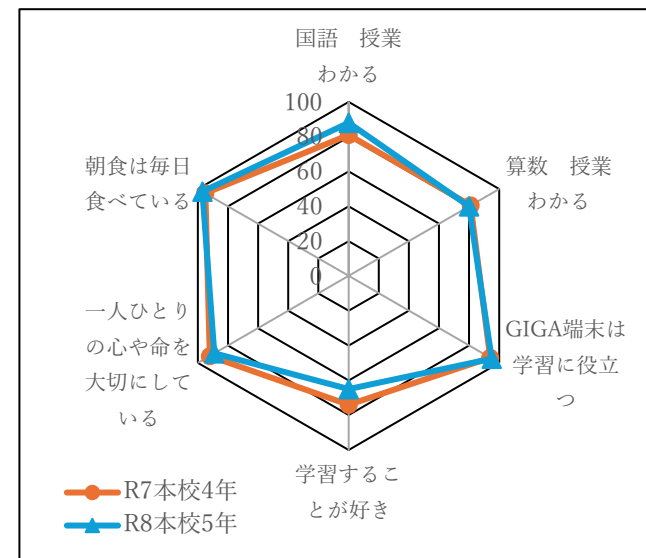


平均正答率	国語（知識・技能）	算数（知識・技能）
R8 本校6年	59	67
R8 全体6年	63	69

一方で、国語の「書くこと」、算数の「分数の計算」「平均」といった筋道を立てて考える応用・思考力を要する領域に課題が見られます。

今後は、文章で考えを表現する活動や GIGA 端末を活用した学習を深め、基礎の定着と主体的な学びを推進してまいります。ご家庭でも読書時間の確保やメディア利用ルールの見直しについて、お声がけをお願いいたします。

【5年生】 川崎市学習状況調査



平均正答率	国語（知識・技能）	算数（知識・技能）
R8 本校5年	70	60
R8 全体5年	73	69

5年生は、「友達と解き方を伝え合っている」（86%）、「話し合いを自分の考えにつなげている」（85%）の割合が全体を大きく上回っており、他者の意見を尊重しながら学びを広げる力が育っています。

国語では全体と同水準を維持し、「言語文化（ことわざ・慣用句等）」の正答率（72%）が高い一方、自分の考えを根拠とともに文章化する記述力に課題があります。

算数では「整数の計算」「角」などの基礎単元に不十分な点が見られるものの、「図や表、言葉などをつなげて説明している」（83%／全体比+12ポイント）と回答した割合が非常に高く、学びのプロセスを大切にする意識が定着しています。

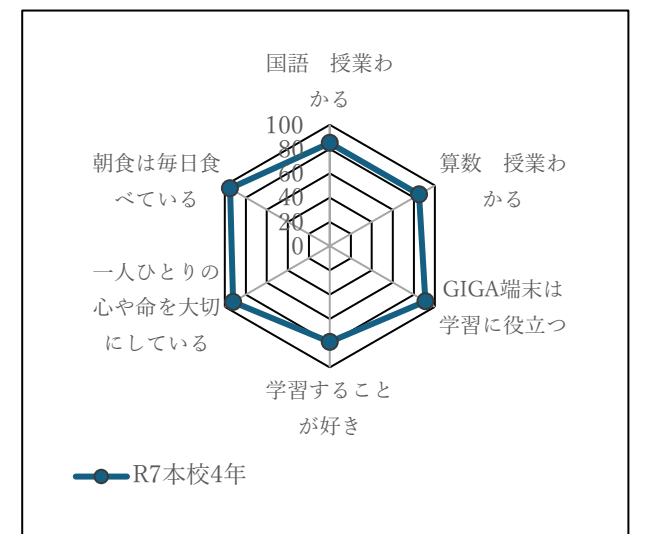
今後は「仲間と学び合える」強みを生かし、互いに補い合いながら、授業での振り返り文章の作成や読書活動を通して「考えを文章で表現する力」を高めてまいります。

【4年生】 川崎市学習状況調査

4年生は、「一人ひとりの心や命を大切にしている」（92%）、「朝食を毎日食べている」（95%）の割合が非常に高く、互いを認め合う温かな学級雰囲気と安定した生活習慣が、日々の確かな学びの蓄積を支えています。

学習面では、国語の「知識・技能」（82%）や算数の「データの活用」（75%）など基礎領域で高い正答率を示しています。一方で、国語の「書くこと」や算数の「式による表現」の正答率が低く、身に付けた知識を使って自分の考えを論理的に説明することに苦手意識が見られます。

今後は、GIGA 端末を活用して考えを書いたり、整理して共有したりする機会を増やし、「わかった」という状態から「自分の考えを表現できる」姿へと深めていきます。また、ご家庭とも連携しながら、自分で学習を管理する習慣づくりを支えてまいります。



平均正答率	国語（知識・技能）	算数（知識・技能）
R8 本校4年	82	75
R8 全体4年	84	77